

岡山理科大学獣医学部の疑惑は解消されていません

2017年10月9日

獣医学部誘致問題シンポジウム実行委員会

安倍内閣は、国会での森友・加計問題での追及を恐れ、9月28日召集の臨時国会を冒頭解散しました。安倍首相が「腹心の友」と呼ぶ加計孝太郎加計学園理事長との間で、国政私物化の疑惑が持ち上がってきたことは、今治市民にとっては驚愕すべきことでした。真相解明に背を向け、獣医学部新設が大きな「市民負担」を前提に強行されようとしていることに、私たちは満身の怒りを込めて抗議します。私たちは、真相究明もないままに、岡山理科大学獣医学部が今治市に新設されることには断固反対です。

菅良二市長は、私たちが9月8日に発した公開質問状に対する回答で、(1)今治市の大学獣医学部誘致が、昭和50年の学園都市構想発表以来の40年来の悲願であるとしています。そんなことはありません。当初、松山大学の新学部が候補であったように、新設学部は何学部でもよかったのです。獣医学部が浮上したのは、千葉科学大学での新設を諦めた加計学園が今治市に目を付けて以来のことです。

(2)加計学園の経営実態について、(平成28年度決算で経常収支が7,130万円の黒字であり、特に問題はないとしています。ところが、加計学園は岡山理科大学の黒字で、千葉科学大学と倉敷芸術大学の合計10億円にもなろうという赤字を補てんしており、私学共済会からの借入金約50億円の償還を迫られており、来春4月開学は、今治市からの補助金を今年度中に手に入れるためであって、経営は火の車というのが実態のようです。

(3)加計学園の示した工事費192億円は精査し検証したのかという質問に対しては、「建屋工事の坪単価は約80万円、高度な研究設備等によってトータル坪単価が約126万円と確認し、他の大学や病院等の建築単価と比較しても高額ではなく、内容にも問題は無かった」としています。入札も行われたとしています。

ほんとうにこれは正しいのでしょうか。聞くところでは、元請け業者の人札は初めから岡山市の建設業者に絞られ、今治市の業者は排除されたというのが実態ではありませんか。

校舎建設費の積算根拠を公開されたいという質問に対しては、「公平公正な立場でご意見を頂く第三者機関を設置して、その結果を公表する予定です」とあります。

菅市長は設立認可が下りた後に5名の専門家からなる第三者機関を設置し、5か月をかけて検討させるとしています。なぜ、5か月もかかるのですか。不思議な話です。

私たちは、第三者機関の専門家が菅市長の肝煎りで選ばれることは問題だと考えます。私たちは、一級建築士を委員に推薦できます。市民推薦の専門家を委員に加えることを要請します。また、この第三者機関の会議は公開で行われることも要請します。岡山理科大学獣医学部に向けられた疑惑を晴らすことは、菅市長の責任であります。